



「森林の調査隊!!フォトコンテスト」開催場所



秋の清水寺（清水の舞台）



箕面の動植物

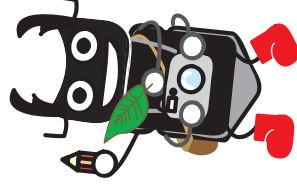
ムラサキキブ



箕面の動植物

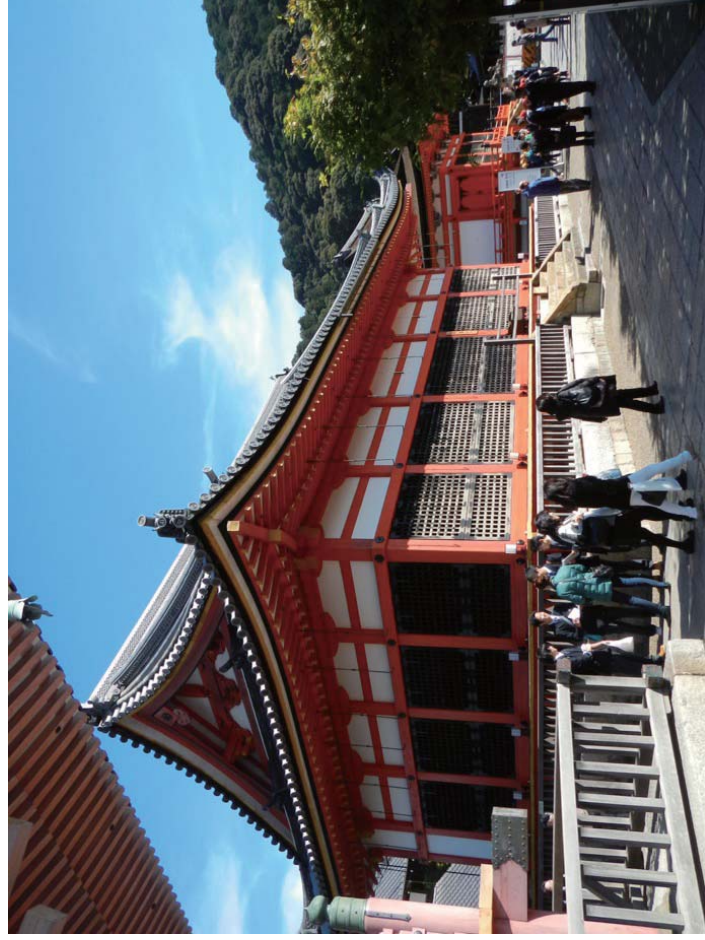
サルトリイバラの実

10 2015 October



1 木
2 金
3 土
4 日
5 月
6 火
7 水
8 木
9 金
10 土
11 日
12 月
13 火
14 水
15 木
16 金

17 土
18 日
19 月
20 火
21 水
22 木
23 金
24 土
25 日
26 月
27 火
28 水
29 木
30 金
31 土



最終審査会場 清水寺（経堂）



【森林と人との関わり部門】

貴重な里山『待兼山』の緑を守る 青野 倫太郎 (大阪府立園芸高等学校) (大阪府池田市)

(メッセージ)

私が所属するビオトープ部は待兼山のクヌギ、コナラ、アベマキを枯らすカシノナガキクイムシ（以後カシナガと呼ぶ）の防除に取り組んでいます。

待兼山は本校の最寄り駅である阪急石橋駅徒歩15分に位置する都市部に残存するたいへん貴重な里山です。

この里山に数年前よりナラ枯れが発生し、ここを管理されている大阪大学によって枯死木が伐採されています。私たちビオトープ部はできるだけ環境に優しい方法でカシナガを防除を行っています。この作品を通じて私たちの待兼山を守っていききたいという意気込みを感じただければ幸いです。

写真1 まだ紅葉が始まっていないにもかかわらず、紅葉（枯れ葉）が見られるようになりました。待兼山ではコナラに多く発生しています。クヌギ、アベマキの被害は少ないことがわかりました。

写真2 カシナガの防除では、粘着シートが用いられていますが、カシナガ以外の昆虫等が捕獲される問題も指摘されています。

私たちは安価でしかもだれでも設置できる布製ガムテープを粘着面を内向きに巻く方法で多くのカシナガを捕獲しています。

写真3 私たちは箕面昆虫館の協力を得て、粘着シートで捕獲された昆虫類の同定作業を行い、カシナガなど昆虫類の捕獲状況を明らかにしました。

- 撮影日：①H24.10.3 ②H25.6.5 ③H25.8.22
- 撮影場所：①②待兼山 ③箕面昆虫館
- カメラ機種：Panasonic DMC-TZ3



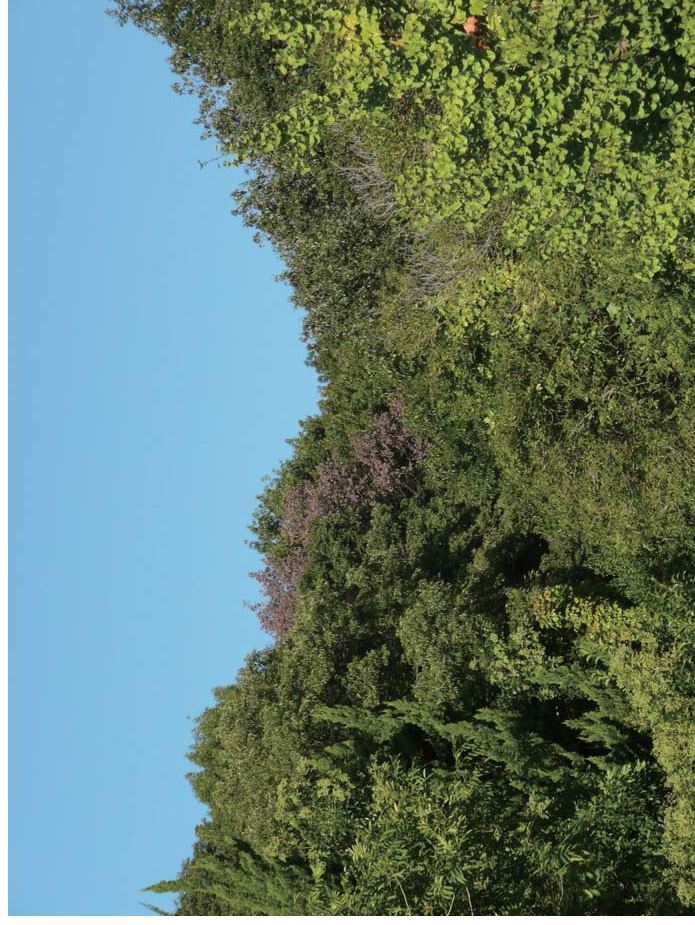
箕面の動植物

サワガニ



箕面の動植物

紅葉



1 日	17 火
2 月	18 水
3 火	19 木
文化の日	
4 水	20 金
5 木	21 土
6 金	22 日
7 土	23 月
勤労感謝の日	
8 日	24 火
9 月	25 水
10 火	26 木
11 水	27 金
12 木	28 土
13 金	29 日
14 土	30 月
15 日	
16 月	



写真②



写真③

12

2015 December



筑面の動植物

近畿中国森林
管理局長賞

【森林と人との関わり部門】

春近し 松本 涼太 (広島県立庄原格致高等学校) (広島県庄原市)

1 火

2 水

3 木

4 金

5 土

6 日

7 月

8 火

9 水

10 木

11 金

12 土

13 日

14 月



写真①

(メッセージ)

これらの写真は春間近の中国山地の山で撮ったものです。

まず一枚目ですが、注目すべきは木の周りだけ雪が解けていることです。これは「根開き（ねびらき）」と呼ばれる現象だそうです。雪は白っぽいので太陽光を反射してしまい周りの温度も暖まりにくく晴れていてもなかなか解けないのですが、その反射された光が木が吸収し周りの雪がとけるのだとか。これだけでなく光合成を行うので温度が高くなる、落ち葉の中で微生物が活動しているなどの要因もあるようです。

次に二枚目で、解けた雪は水となって流れていきます。自然を撮る時はコントラストを上げて撮ると自然の美しさが際立つように思います。またこの写真は少しシャッター速度を落として水の流れる様子を表現しました。春の近いこの時期にしか見られない雪解け水には、他の水とは次元の違う清らかさ、躍動感や美しい趣が感じられます。また周りからは新たな緑が萌え始めています。

最後に三枚目です。とくとくと音をたて流れ解けた水は池にたどり着いていました。まだこの時はうらかかというには程遠く春は浅くそこにはしっかりと冬が居座っています。水面に映る空は冬の静けさがあり彩もまだ寂しげです。奥には残雪も見られます。しかし暗い水の底には何か得体の知れない力が潜んでいるように感じました。春はすぐそこにまでやって来ていました。

15 火

16 水

17 木

18 金

19 土

20 日

21 月

22 火

天皇誕生日

23 水

24 木

25 金

26 土

27 日

28 月

29 火

30 水

31 木



写真②

- 撮影日：H26.4.12
- 撮影場所：舌妻山
- カメラ機種：Canon EOS KissX6i



写真③



裏面の動植物

雑誌

1 2016 January

【身近な森で見つけた動植物部門】

ぼくのすきなセマルハコガメ

武田 草太 (沖縄県石垣市)



1 金 元旦

2 土

3 日

4 月

5 火

6 水

7 木

8 金

9 土

10 日

11 月 成人の日

12 火

13 水

14 木



(メッセージ) ぼくは石垣島の、野底に住んでいます。そこには自然が多く海や山もあります。

そこで写真を撮るために野底マーペーという山の登山道に行き、歩いて行くとセマルハコガメが二匹いました。セマルハコガメは天然記念物に指定されています。どうやって見つけたかというと、家にいるメス犬のルルという犬がみつけてくれました。

そしてセマルハコガメは、すぐ殻の中に引っ込んでしまい、出てくるのには時間がすごかりました。そして辛抱強く待つとやっと中からセマルハコガメが顔を出しました。

そして写真を撮ってしばらくすると手足が出てきて、走るような速さで川の近くの森に入ってしまいました。こんなに速いんだなと思いました。

●撮影日：H26.9.23 ●撮影場所：沖縄県石垣市 野底マーペー山のふもと ●撮影した動植物の名前：セマルハコガメ
●カメラ機種：Nikon COOLPIX L14

15 金

16 土

17 日

18 月

19 火

20 水

21 木

22 金

23 土

24 日

25 月

26 火

27 水

28 木

29 金

30 土

31 日



【身近な森で見つけた動植物部門】

森を見つめる小さな瞳 小倉 玲 (京都市)



(メッセージ) 私は、カエルなどの小さな生き物が大好きです。でも同年代の人たちは小さな生き物を見ると決まって「気持ち悪い」と言います。私はそうは思いません。なぜなら小さな生き物も私と同じ一つの命だからです。

私は月に一度、山に登って、植林やきのこ、野鳥の観察をする集まりに参加しています。この写真は9月28日の活動の時に見つけた1cmほどのタゴガエルの子供です。

地球温暖化、大気汚染、外来種による森の日々の変化に私は気づくことができません。

しかし、このタゴカエルのような森の住人たちは環境の変化に気づいているのだと思います。森の住人たちは、毎日その森を眺めながらどのようなことを感じているのだろうか。写真を見た人に想像してもらうため、タイトルを“森を見つめる小さな瞳”にしました。

それから、この森を守っていききたいと願う私の思いも込めました。

●撮影日：H26.9.28 ●撮影場所：大文字山 ●撮影した動植物の名前：タゴガエル ●カメラ機種：Canon IXY



平成26年度環境教育研修（森林環境教育セミナー：箕面国有林）



京都教育大学 山下宏文 教授



大阪府箕面公園昆虫館 久留飛 克明 館長

● 森林環境教育セミナー

現代社会では、普段の生活の中で森林とかかわったり木材の利用などについて体験し、学んだりする機会が少なくなってきました。

このことから、森林の中での様々な体験活動などを通じて森林・林業等についての理解と関心を深める森林環境教育の機会を、こどもたちをはじめ国民に広く提供することが重要になっています。

このような中、森林管理局・署等の職員が直接学校等に赴き、森林環境教育の支援を行うだけでは限界があるため、自ら森林環境教育を実施できる者を増やしていくことが必要となっています。

このため、学校教育における森林環境教育の導入を促進することなどを目的として、当センターの働きかけにより箕面市教育委員会と連携し、教員の環境教育研修を活用した森林環境教育セミナーを実施しています。



箕面の動植物

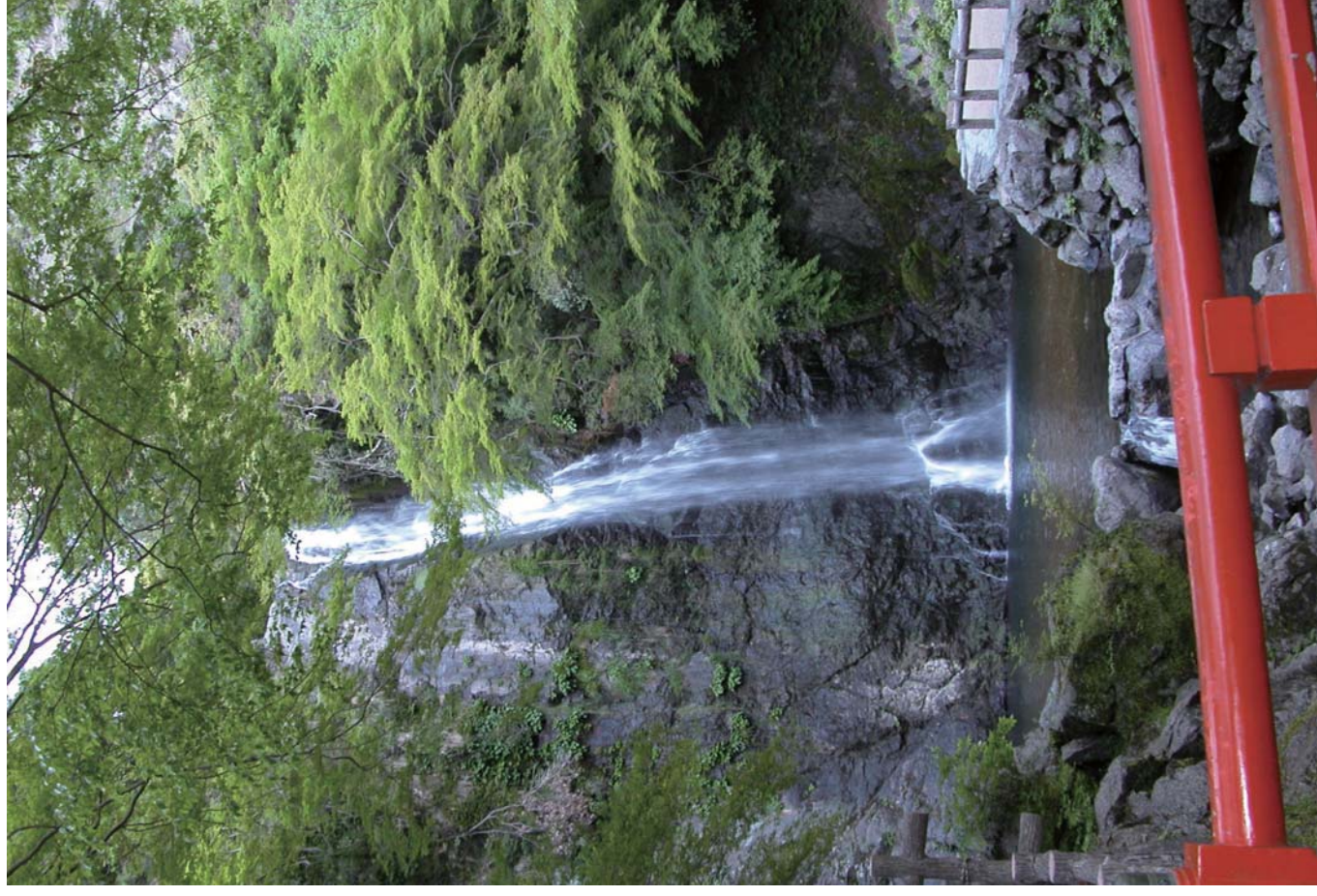
ロウバイ

2016
February

1 月
2 火
3 水
4 木
5 金
6 土
7 日
8 月
9 火
10 水
11 木
12 金
13 土
14 日
15 月
16 火

17 水
18 木
19 金
20 土
21 日
22 月
23 火
24 水
25 木
26 金
27 土
28 日
29 月

建国記念日



● 箕面大滝

箕面森林ふれあい推進センターの取り組み



「オオクワガタの棲める森づくり体験イベント」のようす



●「オオクワガタの棲(す)める森づくり」

「箕面体験学習の森」整備事業の内の一つとして行っている取組です。当センターでは、当該地域の国有林をこども達を対象とした森林環境教育のフィールドとして一層充実させる等の観点から、「箕面体験学習の森」の中心にある展望台周辺において、かつての森を再生することを目指して、ヒノキ、スギ林からクヌギ、コナなどの落葉広葉樹林への転換を図ることをとしています。

この取組は住民参加型とし、ボランティアの協力により、苗木の育成→植栽→下刈等の一貫した取組を継続して行うこととしています。

「オオクワガタの棲(す)める森づくり」では、箕面市内の小学校及び幼稚園の児童・園児、箕面市など多くの市民の方にも協力していただいています。



2016
3 March

1	火	17	木
2	水	18	金
3	木	19	土
4	金	20	日
			春分の日
5	土	21	月
			振替休日
6	日	22	火
7	月	23	水
8	火	24	木
9	水	25	金
10	木	26	土
11	金	27	日
12	土	28	月
13	日	29	火
14	月	30	水
15	火	31	木
16	水		



水源の森ジオラマづくり完成品

●水源の森ジオラマ作り

このジオラマづくりは、子どものみならず大人でも楽しめると好評です。工事を始める前に、パネルなどで「水源かん養保安林」「水源の森」「水循環」など、森が水を守っていることについて理解を深めてもらい、森林をイメージしながら工作するように工夫をして実施しています。

このジオラマづくりは、木エクラフトを作って楽しかったで終わるのではなく、作る楽しさと学ぶことのきっかけとして、森林環境教育に役立てていただけます。※ジオラマの作り方は最後のページに掲載しています。



『黄色い花』 池田 一葵 (京都府綾部市)



『別山のお花畑』
定塚 健輝 (石川県金沢市)



『自然』 石坂 日珈流 (京都府綾部市)



『俺が一番強いんだ！』
佐藤 匠馬 (長野市)



『高台の頂上』
川崎 優胡吏 (大阪府箕面市)



『ウシガエル』
正月 優哉 (大阪府箕面市)



『大文字山』 瀧口 太一郎 (兵庫県西宮市)

最終審査対象作品（受賞作品は除く）【森林と人との関わり部門】



『トンボ達のつばやき』

上野 勝司（大阪府堺市）



『エドヒガンの森で活動する子どもたち』

則久 正志

（溪のサクラを守る会）（兵庫県川西市）



『森林（もり）とともにだちになろう』

上野 勝也（大阪府吹田市）



『資源に活用』

宮本 罔宏

（広島県神石郡神石高原町）



『箕面の森の音楽会』

鈴木 真紀 寺田 知之 寺田 遥平

（箕面の森の音楽会実行委員会）（大阪府箕面市）



『2014年 しおんじ山』

竹田 光廣 内藤 靖博 谷上 裕二

（しおんじ山の会）（大阪府箕面市）



最終審査対象作品（受賞作品は除く）【森林と人との関わり部門】



『沈める路線』

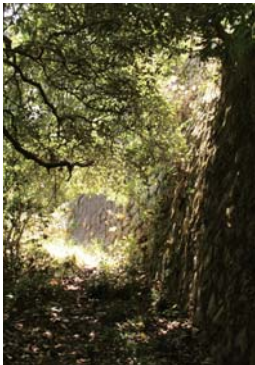
中元 彩香

（岡山県立高梁城南高等学校）（岡山県高梁市）

①



②



③



『「守る」から「創り出す」へ、高校生の底力』

見上 光

（大阪府立園芸高等学校）（大阪府池田市）

①



②



③



『真冬の森』

村田 惇

（広島県立庄原格致高等学校）（広島県庄原市）

①



②



③



『不思議がいっぱい・森林（もり）の中』

湯川 喜義

（長野県木曽郡木祖村）

①



②



③



『有害鳥獣駆除活動』

阪口 顕

（公益社団法人大阪府猟友会）（大阪市）

①



②



③



『緋色に映えて』

敷田 明佳

（広島県立庄原格致高等学校）（広島県庄原市）

①



②



③



平成26年度「森林(もり)の調査隊！！フォトコンテスト」実施要領

1. 趣旨

国有林野事業においては公益重視の管理経営の一層の推進、森林の流域管理システム下での森林・林業再生に向けた貢献、国民の森林としての管理経営、地球温暖化防止対策の推進及び生物多様性の保全の管理経営に一層取り組むとされています。今年度のテーマとして

①「身近な森で見つけた動植物（昆虫・動物・植物）」部門　〔応募写真：1枚単位、コメント：200字程度〕
生物多様性の保全については、森林が我が国の生物多様性の保全を図る上で重要な位置を占めていることから、鎮守（神社）の森やお寺の森など、身近な森や里山を探索して見つけた、その森に生息する昆虫や動物の姿及び植物などをテーマとした「身近な森で見つけた動植物」の写真を公募します。

②「森林(もり)と人との関わり」部門　〔応募写真：3枚1組単位、コメント：400～600字程度〕
国有林野や地域の森林において、里山の再生の取組や森林資源の有効活用、森林環境教育の場など、森林の活用が広がっていることから、森林（里山）散策や森林での整備活動などで感じた心象やボランティア活動等での自然とのふれあいなどをテーマとした「森林(もり)と人との関わり」の写真を公募します。

上記、①、②のテーマに沿った写真を公募し、審査会・入賞作品の展示等を行います。

森林の持つ生物多様性の機能や里山の再生に向けた森林整備活動、資源の有効活用、森林環境教育活動などの写真を通して、広く国民に森林への関心と理解の醸成を図ることを目的に行います。

2. 募集期間

平成26年6月2日（月）～ 平成26年10月6日（月）

3. 募集要領

（1）作品募集　A4版カラー（デジタル写真）で提出

（2）募集テーマ

ア）身近な森で見つけた動植物（昆虫・動物・植物）　イ）森林(もり)と人との関わり

（3）募集内容

ア）募集作品は未発表作品に限ります。

イ）「身近な森で見つけた動植物（昆虫・動物・植物）」部門

応募対象は、小学生・中学生の個人とし、作品は、1枚単位。

応募写真に、①テーマ、②撮影日時、③撮影場所（山の名前）、④撮影した動植物の名前（自分でつけた名前でも可）

⑤作品に対する想いなど200字程度のコメントを添付。

ウ）「森林(もり)と人との関わり」部門

応募対象は、小学生以上で個人又はグループとし、作品は、3枚1組単位。

応募写真に、①テーマ、②撮影日時、③撮影場所（山の名前）、④作品に対する想いなど400～600字程度のコメントを添付。

4. 審査・表彰

（1）一次審査会

日 時：平成26年10月15日（水曜日）

場 所：近畿中国森林管理局大会議室（大阪市北区天満橋1丁目8-75）

審査基準：「写真の表現力・映像の美しさ」・「題材の選択性」・「作品に対する想い」の3点について、総合的に審査、判断します。

選考数：「身近な森で見つけた動植物部門」10作品。「森林(もり)と人との関わり部門」20作品。

（2）最終審査会（公開）

日 時：平成26年11月3日（祝日・月曜日）

場 所：「清水寺 経堂」（京都市東山区）

審査基準：応募者に作品についての発表していただきます。「写真の表現力・映像の美しさ」、「題材の選択性」、「作品に対する想いの発表（コメント）」の3点について、総合的に審査、判断します。

（3）入賞作品の表彰

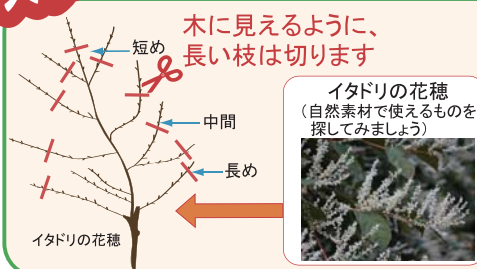
上記（1）の全ジャンルを通じて、上記（2）の審査基準により10作品を入賞作品として選定し表彰します。

①林野庁長官賞（1点）、②里山賞（1点）、③近畿中国森林管理局長賞（7点）、④審査員特別賞（1点）

「水源の森」ジオラマの作り方

スタート

①ミニ樹木を作る

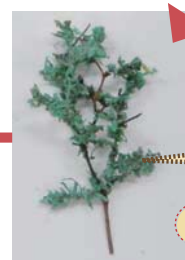


木の枝先などに木工ボンドを塗る



水ごけ(着色したもの)の中にまぶす

葉っぱが落ちやすいので、薄めた木工ボンドで固定します
※溶液は木工ボンドを水で薄めて作ります



真ん中の幹の部分はボンドをつけなくて、枝の部分にボンドをつけると、木らしく見えます。

※3本つくりましょう

③樹木を植える穴をあけ、地面を作る(パート2) (保安林看板の穴もあける)



キリで樹木(2ヶ所)と看板用(1ヶ所)の穴をあける



ケヤキの皮の裏に木工ボンドを付けて板に接着する



大きなすきまに破片をつめると地面が安定する



1ヶ所を指でおさえると、大きくすきまができ、ぐらぐらすることがある

④滝用



滝用の地面の皮を選ぶ



1段目と2段目のケヤキの皮の隙間に破片をつめると地面が安定する

⑥水の部分にボンドを塗る



水の部分に木工ボンドを塗る。岸の部分はつまようじで押し込むようにして、均等にぬり広げる。

⑦樹木を植える(ピンセットを使う)



樹木の穴に木工ボンドをつけ、ピンセットで樹木を植える。

樹木につけた水ごけが、ぼろぼろ落ちて、川の中に落ちると見栄えが悪くなるので、爪楊枝がピンセットで取り除きましょう



ボトルフォレスト
Bottle Forest

近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

②地面を作る（パート1）

※出た破片は、あとで使うのでとっておく



ペットボトル(約500ml)を
半分に切斷したもの、
板(円盤)を用意する。



板(円盤)の中央に厚紙を重ね
厚紙にそって鉛筆で線を引く



ケヤキの皮と厚紙を
重ねる



厚紙にそってマジックで
線を引く

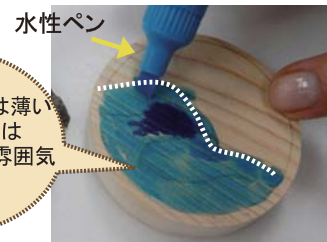


切り落とす

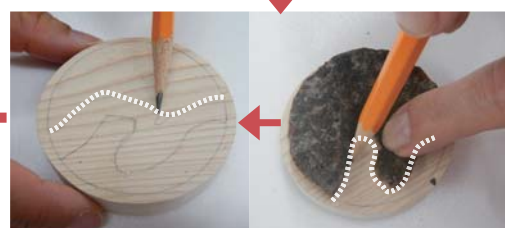


指に水をつけて、色のさかいめの
色をのばすと自然な感じに仕上げる

水性ペン
水は浅いところは薄い
色で、深いところは
濃い色で塗ると雰囲気
が出ます。



外がわの線まで水性ペンで
塗る



ケヤキの皮をのせて、鉛筆で川や池の
ふち取りをし、さらに1cm余分にふちを書く

の地面を作る



滝の上の川にするとところを
を削る



3本目の樹木の穴を
キリであける



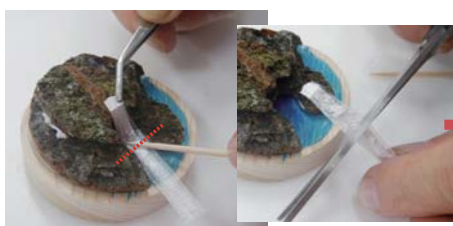
1段目のケヤキの皮の上に
滝用のケヤキの皮を接着
する



ケヤキの皮の裏に
木工ボンドを付ける

⑤滝を作る

滝が流れ落ちる部分は
裂いて細かくしておく、
水しぶきのような雰囲気
がでます。



ビニールひもを滝の高さより少し長めの
ところで切る



滝のできたところ



ピンセットで滝の頭に
つける



ひもの裏面の先に
木工ボンドをぬる

⑧保安林の看板をつける



保安林
看板見本

⑨完成

ペットボトルを
かぶせる



日もすれば、ボンドの
部分が乾いて透明になり、
最初に塗った水の色が
浮かび上がってきて、
そのときが完成です。



次の日の状況



完成!!



平成26年度「森林の調査隊!!フォトコンテスト」

編集・発行: 林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8番75号 近畿中国森林管理局内

TEL:06-6881-2013 FAX:06-6881-2055

ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/